明治二十四年六月廿五日印刷
明治二十四年六月廿五日出版

(非賣品)

婦人衛生會雜誌

第十九號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生會雜誌

第十九號

目次

◎講演
◎完全無缺なる我邦の婦人よ
他の風俗習弊に惑ふと勿れ　　　粠原三圭君述
◎出血の處置　　　芳賀榮次郎君述
◎衛生叢談
◎本會錄事

◎本會規則摘要

一本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持するの方法を講究し且社會全般の幸福を增進するにあり

一本會々員たらんと欲する向は族籍住所姓名を記し本會事務所へ申込あるべし

一本會々員を分て終身會員特別會員通常會員𦬇生幷男子贊成員とす

但終身會員は入會の節拾圓以上を收むるもの特別會員は每月貳拾錢以上を納むるもの通常會員は每月拾錢を納むるもの學生は每月五錢を納むるもの男子贊成員は每月拾錢を納むるもの

一本會講談會は七月八月を除くの外每月一回通常第一土曜日午後一時より開會し會員は勿論會員知已の傍聽を許す

一本會雜誌は每月一回發行し會員に頒つ

一會費は郵便小爲替にて東京下谷郵便局へ向け振出しあるべし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生會雜誌第十九號
明治廿四年
六月廿五日發兌

講演

完全無缺なる我邦の婦人よ他の風俗習弊に惑ふと勿れ

萩原三圭

私は今日加藤會長の御依頼にて此御會に出ましたが、說話にも巧者と拙者とがありまして、巧なる說は能く辨て旨味がありますから、能辨者旨哉と申ます、拙き話は旨味所か譯さへ辨りかねます。私は拙印の方で御聽客の御迷惑で御座りませうが、御容赦なく御尋問を願ひます。

抑此題の說話は私が先年歐羅巴に留學いたしました時、獨乙國伯林の大學校にて、生理學教頭ヅ、ボア、レモン氏が、筋肉の發育及其作用に付て講釋の折節、支那婦人の足を人爲の不具ぢやと申て誇りました成程支那の婦人は（下等社會の働人には無けれども、上等社會にて）生れて間もなく絹を以て足を纏ひ、大くならぬ樣にするを、美人の習とし、獨では歩みかね、侍女の肩に依る抔を意氣とやら、粹とやら、申さうですが、隨分氣の毒です。是等は天の授けし災でなく、人の爲したる害であります。之に就て私の不審が起りましたけれども、其場では尋る譯にも參りませず、其後當時の醫學部長なるライヘルト翁を機會にふれて左の通

扨先日ヅ、ボア、レモン先生の教場にて斯々の次第を承りましたが、其件は彼國の惡習でありませう、然るに文明國と誇り居る歐米の婦人にして名にも似合ぬ習僻がありますよ、例之狹き衣服にて胸を壓し肺の機能を妨げ、少し急て歩むか、階段を昇る時等には呼吸が忙しくなります。又肝の臟も季肋の下に壓し壁られて形の變りて居るのを解剖の時に見ました。又强き紐にて腹を緊く絞つけ蜂の

様よなりて私の腹は此通など丶自負するのも雑話の節に聞ました。是等ハ解剖學上よても生理學上よても稱べき事でありますまいと思ひます、小生ハ考へまするに、遠く隔たりて耳にも入らぬ、支那人の評判をするのみならず、近き所の婦人方に衞生の講釋を致されて改良せられてハ如何で御座りませう乎。

又頃日御當地の學友が訪て呉まして御國の婦人は眉毛を剃り齒を染るさうだが變な事をするので可笑と申されましたから、小生も亦容赦なく剃眉と齒染は我邦の舊習にして見馴ぬ人には可笑もあろうが小生には御當地の婦人が氣の毒に見ゆるなり、眉毛は暫時剃ずにおけば生ひ、齒は染ずにおけば剝げて故に復り、少しも天然の本躰を害はず、失はざるぞや、腹圍の縮搾や耳朶の穿孔等は如何に後悔するとも仕方があるまじ、と答へました、頤を解くと眉を皺るとの差異は如何でありませうか

問ひましたれば、翁の答に、己を捨て他を責る事は易し。又彼を知り我を知るといふとは、只兵家のみならず、都て人間に入用の事である。吾子勿忘焉と、申されました。元來此翁は醫師の技藝ばかりでなく。人事にも能く通じたる哲人でありました。

却説風俗習弊に付て頃日必要を感じますから、昔話を並べ列て申上ましたが。風俗はよきものでもあり。亦惡しきものでもありますから、能く氣を付ねばなりません。是は各自の所爲でなく、何時となく、我知らずの慣習にて。彼習弊を識者が卒に改良したいとて、むつかしいことであります。御國の御婦人方が好風俗を不知不識の中に習慣ていらせらるゝのは御僥倖で御座ますが。不知不識の賜は何時しか不知不識に失う事があるかも知れませぬから私は老婆

心にて氣遣ひます。何卒好風俗を捨て惡習弊を取らぬ樣に願ひます。

又序ながら申ます。我は好風俗ぢや充分ぢやとて油斷はなりませぬ。自負は恐痴の種で、滿足は前止り。油斷は大敵強ひものであります。細に氣をつけ、慾に心を盡し。己に短き所がありて。他に長き所があれば補はねばなりませぬ。例之御國にても昔はすべて衣裳を着たさうに御座りますが。今は衣ばかりで裳がありませぬから春風といへば風雅なれども裾吹上られて脚を露ずは不風雅ぢやありませんか。又髮は髮附細工の垢仕立より洗髮の束髮が外見は兎も角各人の好惡として衛生の利害には大なる差異があります、理髮法は御婦人方が毎々御困却の頭痛癖の原に關係があります。髮附油にて汗孔を塗り塞ぎ。元結にて髮を緊縛り、毛根の神經に餘計の苦勞をかけるのはよくありませぬ。先今日は之を初幕と致しまして追次申上たき事が御座ります。

○出血の處置　芳賀榮次郎君述

私の御話するのは、「出血の處置」と云ふ問題で御座います。即ち血が出」時に、如何したら其の血を止める事が出來樣かと云ふ事に就て、御話しをする積りて御座います。已に此の前會に於て、私は創傷の御話しを致した事がありますが、其時に創傷は如何云ふ風にすると、一番後に害を殘す樣な事が無いかと云ふ事に就て、御話し致しましたが。其時にも申して置きました通りで、創傷が出來れば必ず血の出ると云ふ事は、モウ已に貴婦人方が御承知になつて居る。ソコデ體に創傷が出來れば血が出るのだから、創傷の御話しに接續て、血が出た時には如何云ふ風に仕たならば、一番早く夫れを止める事が出來、而して後に害を殘す事が無からふかと云ふ事に就て、

皆さんに御出來になる丈けの法方を申し上げます。此の出血と云ふ事は、創傷と隨伴なふ事だから、創傷が出來れば血を止める工夫をするのが、必要であります。既に之を必要とすれば。其止め方を知らねばなりません。醫學の方では血を止める事は大切の事だから、從つて其法方に於て理屈もツンで居りますが、此の血が出ると云ふ事に就ては、身體の中には如何云ふ風に血が有るかと云ふ事を、御話し仕なければ解り惡いから、至つて僅か計り血液循環の事を御話し仕樣と思ひます。

皆さんも御承知の通り、血液と云ふ者は赤ひ温たかな者で、即ち吾々人間は、温血族であるのです。而して血液が始終身體の中を循環て居るのだが、其循環つて居るのは如何云ふ有樣かと云へば身體の中に在る所の管を、血液が循環つて行くのです、其管を脈管と云ふ。其處を血が循環して居るから御承知の通り吾々の手に脈が有るのです。此の管にも種々有りますが、夫れは動脈 靜脈と云ふて、是れ等と是非區別して御話し仕なければなりません。次に心臟です、此の三ッは如何しても今日の御話しに就て是非必要で、概畧は擧げて云ふて置かねばなりません。心臟は胸の中に在る者で、胸に動悸がするのは、心臟が動くからで御座います。今申した通り胸の中には心臟があつて、其作用で以て、血が動脈 靜脈の中を循環して行るく事が出來るので、而して動脈には鮮紅な血液が有るので、又靜脈は表皮に在る脈で、鳥渡見ても手抔に靑く見える線が、此の靜脈である。靜脈にも血液がありますが、其色は淡黑ひ、ド黑い所の者である。此の動脈と靜脈に、細小さなる同じ脈管が有る、是れを毛細管と云ひます。極く細小して、眼では見えない程の管であります。其中にも皆血液が這入て、而して循環して居る。此の

毛細管は極めて表面の皮の薄い所に在るのは、眼で見える事があります。殊に御婦人方の御顔や、又は御子供衆の御顔の頬の皮が赧いのハ、アレハ皆毛細管がスキ透つて、見えるからであります。又吾々が恥かしいとか、お可笑とか云ふ樣な時に、顔の赧くなるのは、是れは即ち毛細管の中に、血が多く這入つて來るからである。而して毛細管と云ふのは。脈管の中でも一番小さな者で、身體中何處でも分布して居るのです。夫れだから人間の身體ハドンナ處でも血液が循環して居るので、若し怪我をすれば、此の毛細管が破れるから血が出るのです、鳥渡針で刺すとか、小刀で切るとかしても、毛細管は直ぐ破れて血が出ます。夫れに就ては何う云ふ風に血が身體の中を、循るかと云ふ事を御話し仕ないと解りませんから之をば一寸申上げませう。

是れは解剖の圖でありますが、（圖ヲ示ス）是非皆さんに御覧に入れて置きたいのです。則ち人間の身體に在る所の、動脈或は靜脈等の管の中を、如何云ふ風に血液が流れて、循環して行くかと云ふ事を、示した圖でありますが、大變に委しく宜い圖でありますから、能く御覧を願ひます。此の赤く通つて居る線は、皆動脈と云ふて、此の中を血液が循環して頭の方から漸々手の方、足の端に往く程、毛細管が極く小さくなつて分布して居ります。此の圖にはありませんが、心臟は肋骨の中に在る此の心臟の作用で、管の中を血液が非常の速力で循環して往くのです。

夫れで斯う云ふ風に、脈管は分岐て居ります。（脈管ノ圖ヲ示ス）今申した通り、身體の中には、脈管が分布て居るから、ソコデ此の動脈の在る所を切れば、眞つ赤な血が出る、夫れから靜脈と云ふ、表皮に見える所の線を切ればド黒い血が出るのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

夫れから又指の先き杯を切つた時に血が出るのは、あれは毛細管から出るのです。而して此の動脈を切つた時に出る血は、大概走つて出ます。夫れだから若し此處いらの所を（股ヲ指ス）切れば、血が非常の力を以て、ポンプから水が出る様に走つて、出ます。之に反して此の血の汚れて居る、靜脈と云ふ方は切つても血が走つて出ない、水が湧く如くに徐かに出るが決して走つては出ません。又一番細ひ所の毛細管を切れば、血が一面に出て來ます、鳥渡海綿を水に入れて絞ると水が垂る様に血が出ます。アレが毛細管の出血で、アの海綿の澤山の孔から、水が垂る様に、毛細管の極く細かい孔から血が出る。さう云ふ時には夫れをば皆止なければならんのだが、固より斯ふ云ふ事は醫者の職業だから、醫者の方では充分止める工夫も出來て居りますが、極く不時の怪我と云ふ者が有つて、隨分醫者の間に合はん事もあります。鳥渡家内の者が創傷を負ふたとか、隣家の者が怪我をして、血が出て止らない、ソシテ醫者が間に合はず、夫れなりに死んだ杯と云ふ例しも幾らもあるから、先づ一應は醫者の來る迄に、血を止める事を知らなければなりません。

夫れで此の血の止める法に就ても種々ありますが、先つ通例靜脈の血と云ふ者は、直きに止り易いが。併しながら走つて出る、動脈の血は中々止りません。而して血が出ると誰でも其の創口を捍へるが、是れは一番宜い法方で、鳥渡した創傷は、指で捍へて居れば血は止ります。併し動脈杯が切れて血が出れば、何うしても捍へて居る位では止りません、放せば又直ぐに出ます。故に此の血を止めるよも、法方が二つ有ります、譬ば手の此處から（二の腕ヲ示ス）血が出るとすれば、其出た所を捍へて止める法と、今一つは其血の出た所よりも上の部、即ち心臓に近い

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

方を、堅く壓し附ければ、止まるものであり升。中心部を壓し附る、即ち壓迫すれば其の血の出た所より上部の血ハ下の方に流れて來る事が出來ぬ故、出血ハ直ぐに止ります、夫れだから其創傷の切口を捍へるか、又ハ夫れより上の法で、動脈の有る所を捍へるとかするが宜しい。隨分斯う云ふ事を知らない人は、創傷を受けると、其口に種々な塵芥の樣な物を附る事がある。私共が子供の時よりも創傷をした時に、袂屎杯を附て置た事がありますが、ソンナ事をすると、却て不潔な毒が創傷口から這入つて、身體の害になります。夫れ故に創傷をして血が出たらば、早く指で捍へて新らしき奇麗な綿を附ければ、大概は止ります。極く小さな創傷で血が少し出た時よハ、只綿を其處よ附れば止ります。併し綿よも種々ありますが、殊に「ザルチイル綿」と云つて藥の這入つた綿が最も宜しひので、此の前の會の時に私が皆さんに御目に懸けました。不潔な物を附けると、創傷口から毒が這入ると云ふ事を申して置きましたが、血を止める爲めに汚れた物を以て身體に附ると、大なる禍を來す事があります。夫れ故に奇麗な綿、即ち貴婦人方が衣服に御入れになる綿を附るが宜しひ。併し大なる動脈の有る所が切れた時には、捍へた位では止りませんから、其時には醫者の處置が必要である。併し醫者が來る迄を救ふ事位は素人が知つて居るが宜しひ。脈管を血が循環するのは、烏渡水が水道を通る樣なもので、若し途中で之を止めれば、其水が前に往かなひと云ふ樣に、血の循環も夫れと同じ事です。夫れだからさう云ふ事を知て居れば、世の中の人の益を爲す事が出來ます。西洋にも日本にも、在る事でありますが、人が喧嘩をして、互に短刀抔を以て切り合ひ、肱を突てソレなりになつて如何しても血が止らずに死んだと云ふ樣な事がある

が。ソンな時に若し血の出た所の上部を壓えつけさえすれば、止ると云ふ事を知て居る人があつたならば、其人の生命は助かつたでありませう。夫れであるから若し創傷を仕た時に側に居つて、此の脈から(圖を示す)血が出たらば其上を壓して居れば、一時間なり二時間なり、生命を保つ事が出來るのです。其中に警察署の醫者とか、又近所の醫者とかに眞正に處置を賴むが宜しひ、又此處に(手を示す)怪我をして押へた斗りでは血が止らん時には上の方を緊く押へるが宜しい。又車に曳れたとか、馬に蹴られたとか云ふて、脈管の大きな所が切れて血が出る、さうして何うしても止らない時には、斯ふ云ふ樣にすると便利です。「布ヲ以テ腕ニ棒ヲ縛リ堅ク締ルノ狀ヲ示ス」途中には木や竹の切れが落ちて居るものでありますし、又固より家の中ならば夫れ等の物もあるから、布或は手拭、或は風呂敷等の物を以て右の如くに堅く締れば血は上ります。夫れから此處、(胴)の所を怪我をした時には斯う云ふ風に一生懸命に縛つて、堅く締めれば脈管が壓されて血が循環仕ないから止ります。手でも足でも血が出た時には、手拭でも手巾でも持て來て、血の出た所の上部を今云つた樣にして、締るが宜しう御座います。其時になれば手拭でも手巾でも帶でも風呂敷でも締る物は幾干もありませうから、血が出たと云ふて狼狽ずに、早くさう云ふ物を持て來て、縛るが宜しいので御座います。

此頃は大層便利なズボン釣が出來て居つて、此の中にゴムが這入つて居りますが若し不意に創傷でも仕た時には、之を解て其處を締ればゴムは彈力があるから至極締るのに都合が宜しいのです。是れは誰が造つたかと云へば獨逸人の「エスマルヒ」と云ふ人で、赤十字社の事に盡力して居る人が發明したので

す、其ヅボン釣は通常の物とは少し違つて、大變便利な物です。夫れで赤十字社の會員とか、或は又慈惠病院の會員とか云ふ樣な名の附いた人、又兵隊杯に此のヅボン釣を持たして置こうと云ふ考から工夫した者であります。（赤色にして長きヅボン釣を示ス）是れハマア鳥渡見た所では、通常のヅボン釣ですが、通常の物ハ短いが、是れは此の通り丈けが長う御座います。そして斯うすれば通常の帶の樣になるから、大變に便利です。（ヅボン釣ノ金ヲ除去ル）是れは無理に赤色で無くつても宜しいのですが、血の出た所を縛る時に、血が目に着かない爲めに皆赤く染てあるのです。是れはゴムが這入つて居るから、大變に彈力があります。夫れから又金を嵌れば、元の通りヅボン釣になります、全く通常の物に少しも違ひません。若し是れが長過るとか、短いとか云ふ時には、締るのにいけませんが、是れは恰度能くなつて居ります。斯う云ふヅボン釣を懸けて居れば、一大事が起る、即ち喧嘩でもして血が出た時に、直ぐに締つて之を止めるから、大變に便利です。是れは血の出た時に止血帶として、充分脈管を締る事が出來ます。此の外瀕軍に曳れたとか、馬車に曳れたとか云つて、酷くなつて血が出て止らないで、見す〱殺す事がある。其時に斯う云ふ止血帶を持つて居れば、人の命を救ふ事も出來ます。例へば斯う云ふ（脛ヲ指ス）所からして血が出れば、夫れよりも上の所、即ち中心の方に近い所を縛れば宜しい。斯ふ云ふ風にして（足を卷キヲ實例ヲ示ス）卷けば緊く締まるから、實に便利です。此の動脈の有る所を肉と共に壓し附れば、血が止まる。此處に骨があるが、此の骨の方に壓し附れば、宜しい。此の骨と肉との間に動脈がありますから斯う云ふ物で縛ると、動脈が細くなつて血が止るのです。夫れで獨逸では

兵隊、又は巡査、消防組、或は慈善會の會員とか云ふ者は、勉めて此のヅボン釣を懸けて居る。殊に兵隊に斯う云ふ者を持たせて置けば、戰場に出て怪我を仕たり、又は他の兵隊が怪我を仕たりした時に、此のヅボン釣で締れば血が止るから、一時急を助ける事が出來る。或は足杯を鉄砲の丸に擊れた時杯に、此のヅボン釣で縛る事が出來る、さうすれば脈が壓されて血が循環ないから止ります。以上は極く皆さんに御解り易い丈けの御話しを致したのでありますが、吾々醫者の方には血を止めるには、モット精妙な法もあるし、モット立派に血を止める事も出來ますが。素人方に於てはソンな事は知るに及びませんから、慈善心のある人は、平生此のヅボン釣を持つて居つて、怪我のあつた時に止める樣にすれば誠に妙です。

今一言云ふ可き事は、創傷所に汚ない者を附けぬ樣に彼の袂塵杯を附けぬ樣にするが必要です。塵が附くと惡いから、綿を附けて血を止める樣にするが宜しう御座います。先づ今日は此の位にして御仕舞にする積りで御座います。是れは私が嘗て書いた書籍で御座いますが私が今御話した方法が書いてあり、又血の循環する圖もありますから、之を御覧を願ひます。

衛生叢談

或人の曰へらく、曾て朝熊山に一泊して、翌朝旭日の昇るを看て、精神甚だ爽快活潑と、なりしを覺へたりしが、ふと西哲が大陽光線の、家屋に射入するは、身躰發育上に、大利益ありと云いたりしことを、深く感じたん。又佛蘭西の、理學士が、蝌蚪を箱の中に、飼て暗室に置くこと二百廿五日にして、之れを見るに其形は、依然たりしが、更に其箱を以て、日光の能く射入する所に移したりしに、其生機極は

めて活潑となりて、僅に十五日を經るに及で、蝦蟇の形狀に發育したりといふ。夫の淫雨濛々たる時は、人々皆鬱憂を生ずるの思あれども、快晴となり大陽の赫々たるに逢へば、忽ち精神爽快を覺ゆるか如きは、皆身躰の發育に大關係を有するの證にして、光線の衛生上に關係するや、實に大なり。故に室內は常に大陽光線の、射入を克くするに、最も注意せざるべからす、殊に乳兒の如きは、幽暗なる室に於て、之れを養育するときは、其成長を妨ぐるや論を俟たす、彼の蝌蚪の試驗に於けるが如し。故に身躰の發育を利せんと欲せば、宜しく大陽光線の、室內に射入することを、務めて以て健全なる家屋となし、暗淡なる室內の害を、改めんとを望むなり。即ち身躰の發育を、利するの一大良法たるは、先大陽光線の射入に注意するを以て、第一着となさざるべからす。

本會録事

◎六月例會　六月七日（第一土曜日）午後一時より麹町區富士見町四丁目十二番地明治義會に於て例會を開く來會者六拾有餘名見初に弘田長君保育園設立に就て保育は最大緊要なる者なれども亦甚だ危險なる者なれば本會擧つて一層奮發興起し此保育の事に就ては充分注意ありたしと述べ次に榊俶君鉛毒に就て白粉の用たる婦人の美を裝飾する者なれば一般用うべきものなれども又鉛毒の害たる知らざるべからず氏の經驗に據れば俳優中村鶴藏其他の如き身躰不随症となり遂に發狂するに至りたり云々故に白粉を購求せんと欲せば先づ分量の割合に重さの輕きものを撰ぶべきなりと次に嶋村俊一君懐妊中の心得に就て懐妊中は身躰の攝養に最も注意せざるべからず若し身躰に少異あらば決して手療治等を爲すことなく速に醫師の診察を受くべしと不發生の爲め三ヶ月にて脫胎せし胎兒を示して演説せられ午後五時散會せり、

○六月一日麹町區五番町十二番地保育園に於て本園の開園式を施行す門前には國旗を交叉し園の內外には球燈數十を掲げ來會者無慮百餘名席定まるや會長副會長開園の主意を述べられ次に三宅秀君中濱

東一郎君の祝辭あり終つて一同へ茶菓の饗應あり數刻懇談の後午後五時散會せり當日來會せられし贊成員には三宅秀君宮本仲君中濱東一郎君河本重次郎君瀬川松吉君加藤照麿君長與專齋君等にして頗る盛會なりし

三宅秀君中濱東一郎君當日の演説は次號雜誌に掲載すべし

◎本會會員羽田三緒子氏は保育園委員を承諾せられたり

保育園開園式施行の節寄附せられたる人名左の如し

（姓名いろは順）

一金壹圓　太田仲子
一金參圓　渡邊千施子
一金壹圓　渡邊三平君
一金壹圓　馬屋原ひさ子
一金壹圓　片山かめ子
一金貳圓　青木やす子
一金貳圓　佐々木うめ子
一金貳圓　衣笠ゆき子
一金貳圓　日本橋區數寄屋町　宮田けい子
一金壹圓　平田榮子
一金貳圓　末岡さだ子

◎保育園開園の節寄附せられたる人名幷に物品左の如し

姓名不願

一煙草盆二個　其他雜品　西ます子
一西洋玩具六品　村岡久野子
一枕幷に蚊帳貳個　其他雜品　南部隈子
一哺乳器三個　椿たか子
一西洋枕六個
一涎れ掛六ッ
一前掛壹ッ　河本かめ子
一志つ三個　野邊地たき子
一大形豆太鼓貳個　外に鳩　宮本らく子
一ちん犬六個　其他雜品　細川靜子
一衣紋掛十本　中村はる子
一玩具數品
一樹膠及木細工　幷玩具數種　佐々木梅子
一大丸ボール百個　馬渡たま子
一玩具數種　幷ニ花及氷　加藤常子
一玩具數種　幷ニ團扇　濱尾作子
一いちご　加藤鈴子
一大日本史略闘繪壹箱　片山かめ子
一湯たんぽの袋壹　河津とし子

◎五月より六月に至る入會會員宿所姓名左の如し

◎通常會員（姓名いろは順）

一飯山かね子　神田區今川小路二町目十五番地
一ミスイサベラ　神田區駿河臺
一渡邊とく子　麻布區霞町二番地
一竹屋雅子　牛込區神樂町二丁目
一丹治はる子　芝區西久保十八番地
一中野えつ子　京橋區三十間堀三丁目十八番地
一植松千代子　神田區淡路町二丁目三番地
一松井とも子　牛込區新小川町一丁目十七番地
一赤司鋼子　赤坂區氷川町二十一番地
一穴山とみ子　京橋區南傳馬町三丁目十三番地
一ミスメレー　神田區駿河臺
一三井ひろ子　本郷區弓町一丁町二十六番地
一臼井鳳子　牛込區新小川町三丁目三十番地
一廣田ます子　麴町區飯田町六丁目十八番地

一周布貞子　麴町區中六番町五十番地

地方會員

一中山まさ子　栃木縣河內郡宇都宮松ヶ峰十五番地

贊成員

一鈴木宗玄君　四谷區仲町一番地
一木庭榮君　下谷區練塀町十九番地

終身會員

一北畠三枝子　麴町區飯田町一丁目二番地

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

遞信省認可

◎稟告

去る六月一日より本園を開き保育依托者の頼談に應ず

但し本園の趣意方法規則等は御來園の上御一覧あるべし

麹町區五番町十五番地
大日本婦人衛生會附屬

保育園

◎正誤

本園附屬保育園假規則第十四條中（若し乳母を附せんことを請求するもののあるときは相當の入費を拂はしむ）なる箇條を取消す

◎本會幹事吉川松子は堤と會員久保田しん子は曾根と改姓せられたり

御注意

會員諸君にして御轉居の際何等の御報知なき方多く雜誌配達其他種々差支へ甚不都合に候間御移動の際には必ず御報知被下度候

會費御不納の方は至急事務所まで御送附被下度爲替は總べて下谷郵便局宛に願上候

私立大日本婦人衛生會事務所
東京下谷區練塀町四十三番地

本會雜誌編纂委員　太田いく子
鈴木まさ子

發行所　東京下谷區練塀町四十三番地
私立大日本婦人衛生會

編輯兼發行人　東京麹町區三番町六十七番地
巖本善治

印刷人　東京麹町上二番町四十八番地
八木吉六

東京秀英舍印刷